

平成26年度 五ヶ瀬町教育委員会の自己点検・評価シート

自己点検・評価の考え方

「重要度」（横軸）と「実現度」（縦軸）のマトリックス評価方式で、それぞれの評価を表により標記するとともに、点検・評価結果の具体的な内容を記述する。

| 大項目 | 中項目 | 小項目 | 点検・評価 |
|---------------------|--|---|--|
| 1 教育委員会の活動 | (1) 教育委員会の会議の運営改善 | ①教育委員会会議の開催回数 | 実現度 ↑ → 重要度 定例会議を12回開催開催した。臨時会議は、2回開催（教育長任命及び教科図書採択）した。 |
| | | ②教育委員会会議の運営上の工夫 | 実現度 ↑ → 重要度 学校運営に対し各委員による多角的な意見交換を行った。また、平成26年度においては中学校の統合後の校名等に関する地区別説明会を小学校区の4ヶ所で開催するなど、保護者及び住民との十分な意見交換を行った。 |
| | (2) 教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信 | ①教育委員会会議の傍聴者の状況 | 実現度 ↑ → 重要度 教育委員会は公開としているが、傍聴の申し込みは皆無であった。平成26年度は、中学校統合後の校名協議等の非公開議案による公開制限も行った。 |
| | | ②議事録の公開、広報、公聴活動の状況 | 実現度 ↑ → 重要度 教育委員会議では議事録の報告・承認等をしており、平成25年9月からホームページ上での公開を行っている。条例・規則の改正については告示した。 |
| | (3) 教育委員会と事務局の連携 | ○教育委員会と事務局の連携 | 実現度 ↑ → 重要度 入学式・卒業式をはじめとする各種行事等の連絡調整をはじめ、事務局が抱える重要懸案等について常に情報提供し、協議を行った。中学校の統合後の校名等については集中審議を行い、事務局に提案した。 |
| | (4) 教育委員会と首長の連携 | ○教育委員会と首長との意見交換会の実施 | 実現度 ↑ → 重要度 教育委員会事務局との意見交換を頻繁に行うとともに、各施策について提言を行った。また、委員会協議事項について町長に伝達し、今後の教育施策の方向性を確認した。平成26年度においては町長との意見交換会を実施した。 |
| | (5) 教育委員の自己研鑽 | ○研修会への参加状況 | 実現度 ↑ → 重要度 宮崎県教育委員研究大会参加を始め、県教育委員会や東臼杵郡内の教育委員会との意見交換会、委員長・教育長研修会及び町内行事等に積極的に参加した。 |
| | (6) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備 | ①学校訪問 | 実現度 ↑ → 重要度 教育長は全学校を訪問。委員は全委員が1~2校の学校を訪問した。 |
| | | ②所管施設の訪問 | 実現度 ↑ → 重要度 意見交換会やオープンスクール等を通じて所管施設訪問を実施した。 |
| 2 教育委員会が管理・執行する事務 | (1) 教育行政の運営に関する基本方針を定めること | | 実現度 ↑ → 重要度 第5次五ヶ瀬町総合計画や学校評価、自己点検結果に基づき、町教育基本方針等について協議した。 |
| | (2) 教育委員会規則及び規定を制定し、又は改廃すること | | 実現度 ↑ → 重要度 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、教育委員会規則の改正等について協議した。 |
| | (3) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること | | 実現度 ↑ → 重要度 平成25年度決算及び平成26年度補正・平成26年度当初予算等を説明し、協議を行い承認した。 |
| | (4) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること | | 実現度 ↑ → 重要度 中学校の統廃合について、平成25年度から関係機関と協議を開始し、統合方針について決定した。また、いじめ防止対策推進法に基づき、五ヶ瀬町いじめ防止基本方針を協議し、附属機関の設置について関係自治体と協議した。 |
| | (5) 教育委員会事務局及び教育機関の職員の任免その他の人事（県費負担に係る教職員の扶養手当の月額の認定並びに住居手当及び通勤手当の月額の決定を除く。）に関すること | | 実現度 ↑ → 重要度 年度末定期異動において、職員の意向を尊重し、適材適所に人事異動を行った。 |
| | (6) 県費負担に係る校長及びその他の教職員の人事及び内申に関する事 | | 実現度 ↑ → 重要度 校長とのヒアリングを十分行った上、校長の具申に基づき、教育委員会への内申を行い、計画的な人事が出来た。 |
| | (7) 町費負担教職員の人事及び評価に関する事 | | 実現度 ↑ → 重要度 町費負担教職員を非常勤職員として任用し、柔軟な勤務により効果的な活用を図った。評価は県費職員に準じて実施している。 |
| | (8) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱に関する事 | | 実現度 ↑ → 重要度 教育長の任命及び教育委員1名の再任を行った。 |
| | (9) 教科用図書の採択の決定に関する事 | | 実現度 ↑ → 重要度 教科用図書採択地区について、平成26年度から東臼杵採択地区協議会とで、小学校教科図書の採択協議を行った。 |
| | (10) 通学区域を設定し、又は変更すること | | 実現度 ↑ → 重要度 平成28年4月1日で鞍岡中学校を廃校とし、鞍岡地区の生徒は三ヶ所中学校へ通学することとなるため、スクールバスの運行等について協議を開始した。 |
| | (11) 文化財を指定し、又は指定を解除すること | | 実現度 ↑ → 重要度 平成26年度は該当がなかった。 |
| | (12) 請願、陳情、訴訟及び異議の申立てに関する事 | | 実現度 ↑ → 重要度 平成26年度においては、請願・陳情・訴訟及び異議の申し立てはなかった。 |
| を3教育教育に委員会任せがる事務・執行 | 1 学校教育の充実 | ①五ヶ瀬教育ビジョンの実践 ②教職員の資質の向上 ③学校管理運営の円滑化 他 ①家庭教育の充実 ②生涯にわたる学習活動の充実 ③社会教育関係団体の育成強化 他 ①生涯スポーツの推進と指導者の養成 ②施設の整備充実と活用促進 ③体育・スポーツ団体の育成指導 | 「事業評価」及び「決算報告」にかかる |
| 5 生涯スポーツの振興 | | | |

総合評価

「豊かな体験活動プログラム」をさらに充実し、義務教育9年間を見越した体験学習に取り組んだ。社会教育においては自然の恵み資料館での特別展を5回開催するとともに、音楽発表会とかがみ会発表会を合同の第3回「教育文化祭」を開催した。生涯スポーツにおいては第4回フロアカーリング大会を開催した。体力づくり関連の各種定例スポーツ大会については、天候に左右されることなく、予定通り開催された。施設整備については、三ヶ所中学校グラウンドを整備したが、今後も課題を整理し、年次計画を策定する。